

景 観 チ ェ ッ ク シ ー ト (大規模広告物)

基本情報	協議者名		
	行為の場所	住 所	☐ 都心・周辺市街地景観 ☐ 近 ☐ 田園景観 ☐ 丘陵市街地景観 ※堺市景観計画 17 ページ参照
計画地周辺	周辺の景観 当該建物や周辺 景観（隣接地、 周辺建物、前面 道路）等の状況	周辺の景観状況を把握し、 周辺状況を詳しく記入	
		周辺の状況 ア. 歴史的まちなみが形成された地域となっており、昔ながらの建物などが立地する閑静な住宅地となっている。 イ. 昔ながらの風情のある建物が多く残っており、広告物も建物に調和した素材や質感を採用している。 ウ. 生活道路であり、道幅が狭い一方通行の道路となっている。	

配慮事項

- (1) 表示しようとする広告物が建築物及び周辺景観に調和し、かつ、全体として良質な意匠となるように工夫すること
- (2) 広告物の掲出位置、デザイン、色使い等に統一を図ること
- (3) 隣接する道路の沿道への掲出をできる限り控えること
- (4) 情報の重複を避け、必要最小限の掲出とすること
- (5) 照明又は発光を伴うものは明るさを抑え、かつ、過剰な点滅とならないよう努めること
- (6) 信号機の視認及び歩行者、自転車等の通行の妨げにならないようにする等、交通の安全に支障を及ぼさない掲出とすること
- (7) 点検の容易性並びに広告物の耐候性及び耐久性を考慮し、安全性に留意した設計とすること

景観上の計画のコンセプト

※上記の計画地周辺の状況及び配慮事項を基に屋外広告物の整備計画に関するコンセプト（考え方）を記載してください

- ・ 歴史的まちなみの地域であることから、周辺景観に配慮し、落ち着いた広告物とする。
- ・ 企業のコーポレートカラーを採用することで、企業イメージ等を連想できる広告物とする。
- ・ 道路幅が狭く生活道路に面していることから、圧迫感や安全に配慮した広告物とする。

周辺の景観状況を踏まえ、広告物の設置計画の方針を記入

広告物のチェック

許可基準（許可基準に適合しているかの確認）

広告物の種類	該当する広告物の基準に適合する場合は□に「レ」を記入 ※屋外広告物の許可基準を参照	☐ 内 ☐ 取付壁面の範囲内 ☐ 開口部を塞がない ☐ 基準にあっているか ☐ 総面積 ☐ 高さ
	自立広告	☐ 各方向の表示面積が基準にあっているか ☐ 総面積 ☐ 高さ ☐ 設置個数

計画内容のチェック

※屋外広告物の

計画のコンセプトを基に配慮した内容を記入

を記入し、配慮内容を記載してください。

配慮の内容

良質なイメージ

- ☐ 広告物の大きさ
- ☐ 統一感のあるデザイン
- ☐ 広告物の掲出位置・配置・総量
- ☐ 色相・明度・彩度の抑制
- ☐ 表示内容の整理・集約
- ☐ 素材色・質感の配慮
- ☐ スカイラインの形成
- ☐ その他

・周辺広告物との調和がとれるように、掲出位置や大きさなどを統一した。

・昔ながらの風情ある建物の趣を壊さないよう建物に調和した素材と質感とし、建物の色と調和するように明度・彩度を抑え、落ち着いた色とした。

・歴史的まちなみの残る地域であるため、必要な情報のみ掲出するように表示内容を集約し、掲出箇所数を最小限に留めた。

わかりやすさ

- ☐ 分かりやすい表示内容
- ☐ 余白の活用
- ☐ 文字体の工夫
- ☐ 色数の抑制
- ☐ その他

・シンボルマーク等を活用し、伝えたい内容が簡潔に分かる表示内容とした。

・表示面に余白を設けて、文字サイズのバランスを整え、文字の視認性を高くした。また、書体を少し細めにするすることで、文字の可読性を高めた。

・企業のコーポレートカラーをワンポイントの採用に留め、色数を最小限にし、落ち着いたデザインとした。

安全性の考慮等

- ☐ 耐候性に優れた素材の使用
- ☐ メンテナンスのしやすさ
- ☐ 通行の妨げ等に配慮した掲出位置
- ☐ 近隣へ配慮した照明
- ☐ その他

・日常点検が難しい位置を避け、点検が容易にできる箇所に掲出し、耐候性・耐久性に優れた素材を採用した。

・信号の視認性を確保し、歩行者・自転車の通行の妨げにならないよう見通しや安全に配慮した箇所に掲出した。

・伝えたい内容部分のみ照明をあてることで、極力周辺を照らさないようにした。